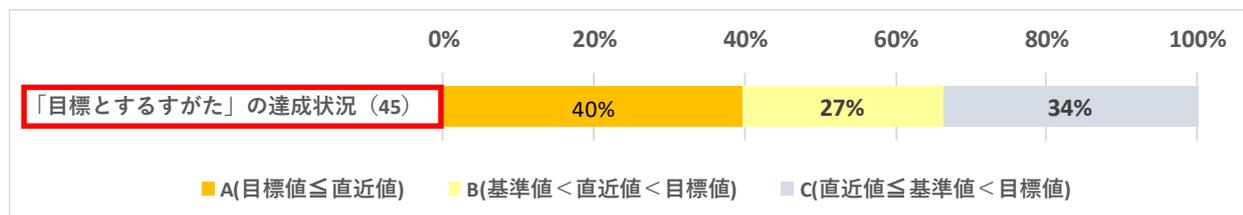


将来像3 希望と活力にあふれる豊かな島

「目標とするすがた」の達成状況 ※赤字部分修正



基本施策	目標とする すがた数	達成状況		
		A (達成)	B (前進)	C (横ばい・後退)
3-(1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備	4	0	1	3
3-(2)世界水準の観光リゾート地の形成	5	0	2	3
3-(3)情報通信関連産業の高度化・多様化	3	0	3	0
3-(4)アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成	3	1	0	2
3-(5)科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成	2	1	0	1
3-(6)沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出	1	1	0	0
3-(7)亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興	6	1	2	3
3-(8)地域を支える中小企業等の振興	3	1	1	1
3-(9)ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成	3	1	2	0
3-(10)雇用対策と多様な人材の確保	4	4	0	0
3-(11)離島における定住条件の整備	6	5.5	0	0.5
3-(12)離島の特色を生かした産業振興と新たな展開	3	0.3	1	1.7
3-(13)駐留軍用地跡地の有効利用の推進	1	1	0	0
3-(14)政策金融の活用	1	1	0	0
合計	45	17.8	12	15.2
		(40%)	(27%)	(34%)

「目標とするすがた」の達成状況は、40%が目標を達成した。

基本施策ごとで見ると、「3-(6)沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出」や「3-(10)雇用対策と多様な人材の確保」、「3-(13)駐留軍用地跡地の有効利用の推進」及び「3-(14)政策金融の活用」については、全ての項目で目標を達成した。

また、「3-(11)離島における定住条件の整備」についても、生活環境基盤の整備や各取組の推進により住民サービスの向上が図られたことで、多くの指標で県民満足度が向上している。

一方で、「3-(1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備」と「3-(2)世界水準の観光リゾート地の形成」については、目標の多くを観光に関連した項目に設定している為、コロナ禍の影響が強く、全ての項目が目標未達となったが、そのような中においても、「滞在日数の増加」や「沖縄旅行に対する観光客の満足度の向上」等については伸長していることから、観光収入の向上に繋がる素地が確認できた。

県民所得の着実な向上につながる企業の稼ぐ力の強化や、全産業における労働生産性の向上等、自立型経済の構築に向け、一層の施策の推進が求められる。